

～自販機専用カプセル商品「ガシャポン」であのポピニカをパッケージ付で再現～

HGシリーズ「カプセルポピニカ」新発売

サイクロン号が、ライジン号がカプセルサイズで蘇る！

株式会社 バンダイ

本社：東京都台東区駒形2-5-4
社長：高須武男、資本金：236億円

(株)バンダイは、1970年代に大ヒットしたヒーローの乗り物シリーズポピニカ(*)をカプセルサイズで再現したHGシリーズ『カプセルポピニカ』(1カプセル1個入り200円・税込)を2002年2月下旬～2002年3月下旬まで自販機専用カプセル商品(ガシャポン)として発売します。

第1弾となる今回は、ポピニカシリーズの第1号であるサイクロン号をはじめとした8種類で、50万個を目標としており、今後も続々商品化していく予定です。

ターゲットは当時ポピニカで遊んだ30代～40代の男性で、玩具売場、スーパーマーケットなどの自販機設置先にて販売します。

「カプセルポピニカ」とは？

1972年より発売となった「ポピニカ」シリーズの形状を精巧に再現し、縮小したカプセルサイズ(約50mm)の商品です。形状のみならず、オリジナル商品のギミックを可能な限り再現しています。たとえば、ライジン号(イナズマンの車)のボンネットが開いたり、翼を動かすことが出来ます。また、パッケージは、1970年代をイメージしたデザインで、ポピーのロゴを復活させています。このようにパッケージの細部にまでこだわり、更にそのパッケージに商品が入った状態でカプセルに入っています。今回は「仮面ライダー」に登場したサイクロン号など、ポピニカシリーズの代表的な、特撮ヒーローマシーンから8種類を商品化しています。

< 第1弾のラインナップ >

1. ライジン号 (イナズマン) … ボンネット、翼可動
2. サイクロン号 (仮面ライダー)
3. マッハロッド (超人バロム・1)
4. ゲットマシン イーグル (ゲッターロボ) … ウイング展開
5. ゲットマシン ジャガー (ゲッターロボ) … 機首伸縮
6. ゲットマシン ベア - (ゲッターロボ) … ミサイル可動
7. バリブルー (秘密戦隊ゴレンジャー) … カタパルトオープン開閉、
ミニバイク付
8. グランカー & スカイミサイル (宇宙鉄人キョーダイン) … カタパルト可動、
ミサイル分離可

* 「ポピニカ」について

ポピニカとは、バンダイの子会社であった(株)ポピーが販売していた日本初のキャラクター専門ミニカーブランド「ポピー・ミニカー」の略称です。最初の製品は、当時の大ヒット番組「仮面ライダー」に登場したサイクロン号(1972年発売)で、重量感と精密感の相乗効果により、瞬く間に人気商品となりました。ポピニカのラインナップは、約400種類ほどあり、基本的にヒーローの乗るメカが大半を占めています。また、1983年にポピーはバンダイと合併し、現在は「ポピニカ」シリーズや、ハイターゲット向けの「ポピニカ魂」シリーズとして続々商品化されています。

ガシャポン「HGシリーズ」について

バンダイが76年から事業展開している自販機専用のカプセル商品ガシャポンは、全国に約17万台の機械が設置されており、100円、200円、300円シリーズで現在展開しています。その中でも発売以来累計1億個以上販売している人気シリーズが「HGシリーズ」です。HGとは“High Grade (ハイグレード)”と“ハマル・ガシャポン”を意味します。ハイグレードの意味合いの通り、プロポーションや彩色など細部まで精密に作り込むことを特徴としています。例えば特撮番組のキャラクターであれば着ぐるみの中に入っている人の体型や、着ぐるみを着たときのシワの寄り具合まで、こだわりをもって再現しています。また、新旧様々なキャラクターを商品化しており、子供から大人まで世代を越えた支持を集めています。



写真：HGシリーズ『カプセルポピニカ』サイクロン号（仮面ライダー）
（1カプセル1個入り200円・税込）



写真：HGシリーズ『カプセルポピニカ』全8種
©石森プロ・東映 ©ダイナミック企画 ©さいとうプロ・東映

報道関係の方からのお問い合わせ先

（株）バンダイ 社長室広報
馬淵または元洲まで

TEL：03-3847-5005

FAX：03-3847-5067

バンダイ ホームページURL

ガシャポンワールド ホームページURL

商品のお問い合わせ先

（株）バンダイ ベンダー事業部

TEL：03-3847-5107

FAX：03-3847-5043

：<http://www.bandai.co.jp/>

：<http://www.bandai.co.jp/gashapon/>